

26-2 男女共同参画推進専門委員会議事メモ

日時 平成26年 7月16日(水) 9:00~10:40
場所 総合研究棟Ⅱ 第一会議室
出席者 朴理事(委員長)、森脇、江成、江藤みちる、井関、小林、常、矢崎 各委員
欠席者 重松、内山、小川、江藤由美、宇野、長濱各委員
陪席者 木村職員課長、小林職員チーム副課長、古尾谷副室長、諸岡室員

○ 検討事項

1 平成26年後期共通教育授業「男女共同参画実践」について

委員長から、資料1に基づき後期授業の日程、内容及び担当者について提案があり、審議の結果、承認された。なお、男女共同参画実践のイベント参加については、下記のとおり計画したが、内容は各主催者が8、9月頃に検討するそうで、内容によってはイベントの変更も必要であり、場合によっては男女共同参画のモデル工場である光機械製作所の工場見学をするなど、今後の委員会で再度検討することとした。

10月 講義、演習

11月 { 11/8(土) 三重県総合文化センター開館20周年記念事業男女共同参画フォーラム
~みえの男女(ひと)2014~ (三重県総合文化センター)
11/8(土) 三重大学主催「ESD in 三重2014」エクスカッション①
「松名瀬干潟, 斎宮博物館, シヤープ亀山工場, 関宿」
11/9(日) 三重大学主催「ESD in 三重2014」エクスカッション②
「三重県総合博物館, 分科会(MEIPL館)」

12月 12/6(土) 津市男女共同参画フォーラム(芸濃総合文化センター)

1,2月 2/16(月) 三重大学アカデミックフェア

○ 報告事項

1 「ファザーリング全国フォーラム in みえ」について

委員長から、資料2に基づき実施結果の報告があった。特に分科会11のシンポジウム「産官学民の連携による日本を変えた男女共同とは！」は、本学学生2名が加わり、参加者から学生の意見を聞くことができ良かったと好評を得るなど、成功裏に終わった。文部科学省主催の分科会10の「100人男子会×女子会(だんじょかい)！学生だけの本音ミーティング in みえ」では、本学学生が積極的に発言し活躍した。参加した委員からは、学生にとって男女共同参画を自分の将来と重ねて考えることで、新たな気付きを得る良い機会となった等、の報告があった。

2 「三重男女共同参画協議会」(仮称)について

委員長から、上記シンポジウムにおいて、三重県の男女共同参画を更に推進するため同協議会を創設することになった旨、報告があった。

3. 「みえ女性活躍推進連携会議」について

委員長から、資料3に基づき、三重県が設置した同会議について報告があった。

4. 国立大学協会「男女共同参画小委員会」について(資料4)

江藤みちる委員から、7/2 学術総合センターで開催された同委員会について報告があった。内閣

府の国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業経費について、事務的に調べることとした。また、12月初旬に開催される国立女性教育会館（NVEC）の事業に参加するか、検討することとした。

5. その他

1) 工学研究科の女性研究者確保について

小林委員から、工学研究科の女性研究者確保のため、学長から裁量経費を使用することの了解が得られており、工学研究科で女性の博士課程在学者の流失を、どうやって防ぐかの検討中である旨、説明があった。

2) 三重大学男女共同参画推進専門委員会アドバイザーについて

委員長から、5/12 第1回当専門委員会で提案した、小川真理子先生に当委員会のアドバイザーを依頼する件について、小川先生が辞退されたことの報告があった。

3) 女性活躍推進法案について

矢崎企画総務部長から、国の成長戦略として今秋女性活躍推進法案（仮称）が出される模様であり、本学にも影響するかもしれない、との情報提供があった。

以 上